

会

派

代

表

質

問

岩沼政策フォーラム



沼田 健一

ガイドラインと部活動

問 教職員の長時間労働への対策が大きな課題となっており、それらを受けての働き方改革が実施されていく中で、数々の問題が出てきている。文部科学省のガイドラインの実効性を高めるための岩沼市としての対策を伺う。

教育長 本来の学校の役割は何かということを考えてうえで、働き方改革を進めます。教職員が充実した生活の中で、充実した学習指導ができる環境を整えていくことで考えています。

学校教育課長 市としてのガイドラインは、文部科学省の出されたものに沿ったものとなっています。**問** 働き方改革について、保護者、生徒らに対し説明などを行っているのか。また、納得されているのかどうか伺う。

教育長 岩沼市は5年くらい前から検討しており、学校には校長会を通じて、また、保護者会等では校長から、その都度情報を発信しています。これらについては、皆さんの理解を得られるよう、十分留意しながら、進めていきます。

問 働き方改革の中で、特に長時間労働とされているのが部活動であるが、働き方改革によって部活動の時間が短くなることから、生徒や保護者からみると不安が非常に大きく感じられている。生徒、保護者の皆さんにどのような説明を行っているか伺う。

学校教育課長 (文部科学省の) ガイドラインが出た際に、保護者や地域の方々に「教職員の働き方改革に関するQ&A」を配布して

います。また、PTA総会、懇談会等を通じて、説明をしています。**問** 少なくとも練習時間の中で、中体連に対する教育委員会としての考えを伺う。

教育長 中体連の夏の大会と新人戦については、大事にしたいと思っています。しかし、成長期の子どもの運動指導には難しさがあるので、それ以外の試合は、制限しなければならぬと思います。生徒たちにとっては、一丸となって試合に勝つことは大事なことであり、それに向かって努力することは奨励

学校の働き方改革説明を

したいと思いますが、その限度や範囲をきちんと定めて行いたいと思っています。

問 働き方改革によって、部活動は週3日となった。残った時間への対応はどのように考えているか伺う。

スポーツ振興課長 昨年11月から、部活動の合同練習会として市陸上競技協会の協力をいただき、中学校陸上教室を行っています。また、中学校側からの希望により、指定

管理者の構成団体である市体育協会から部活動への指導者派遣をするという形の事業提案をいただいています。

教育長 これらについても、学校の範囲や教育活動の範囲などについて、しっかりと定め、理解を求めていきます。

問 短い在校時間で教育目標を達成したり、成果を上げたりするためには、教職員の働き方に関する意識改革が問われると思うが、どのような方法で行うか伺う。

学校教育課長 教職員が、働く時

間というものを意識することが大切であると考えています。そのために、タイムカードの導入、留守番電話の設置をするほか、効率的な時間配分による部活指導の研修会などを行いました。

問 働き方改革の実現に向けた環境整備体制は充実しているか伺う。

学校教育課長 授業への支援として、32名の指導助手、支援員の配置、タブレットやパソコンの整備、ICT活用によるペーパーレス化、資料や教材の共有化等を行っています。

◎その他の質問

- ・次世代を担う子どもの教育環境づくり
- ・地域で子育てできる環境づくり
- ・健康で生きがいを実感できる高齢者の元気づくり
- ・安全・安心で快適なまちづくり

会派所属議員

- | | | |
|------|------|------|
| 森 繁男 | 櫻井 隆 | 沼田健一 |
| 飯塚悦男 | 布田一民 | 国井宗和 |
| 佐藤一郎 | 佐藤淳一 | 高橋光孝 |
| 菊地 忍 | 佐藤剛太 | |